

5年 図工 評価基準

学期	月	題材		評価規準	
1 学期	4月	季節のスケッチ	6	知識	春をテーマに水彩画を描く活動を通して形や色、重なり、画面構成など造形的な特徴を理解している。
				技能	水彩絵の具を適切に扱い、自分の思いに合わせて絵の具の表現方法を工夫して表している。
				発想・構想	学校にある春の花や虫などを見て表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。
				主体性	描く喜びを味わい進んで絵に表す学習活動に取り組もうとしている。
	5月	水の流れのように（焼き物）	4	知識	陶芸用ねんどで焼き物をつくる活動を通して、形や色、バランスなど造形的な特徴を理解している。
				技能	陶芸用ねんどやヘラ、手などを適切に扱い、丈夫かつ自分の思いに合わせて工夫した形をつくることができる。また、色ガラスの置き方を工夫して表している。
				発想・構想	水の流れる場所の映像を見たことから表したいことを思いつき、どのように表すか作りながら考えている。
				鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。
6月 7月	おしゃれ模様の生き物たち（版画）	8	知識	一版多色刷り木版画を制作する中で、形や色の組み合わせ、重なり、バランスを理解できている。	
			技能	①彫り：彫刻刀の扱いに慣れながら、彫刻刀の種類に応じた彫り方をしたり、作品イメージに合わせて彫り方を工夫したりできる。 ②刷り：馬れんやインクなど用具を工夫して扱いながら、きれいに刷っている。	
			発想・構想	①一版多色刷りの方法を理解しながら、どこをどのように彫るか考えている。 ②刷った生き物たちの配置を工夫しながら、どのような様子なのか想像している。	
			鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	
9月 10月	立ち上がれマイタワー（針金工作）	8	知識	ワイヤーアートをつくる活動を通して、形や動き、奥行きやバランスなど造形的な特徴を理解していること。	
			技能	アルミ線やラジオペンチを適切に扱い、自分の思いに合わせて工夫してタワーをつくっている。	
			発想・構想	アルミ線で試した形から表したいものを思いつき、どのように表すか考えている。	
			鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	
11月	春江のはりこ（展覧会共同作品）	7	知識	張子の大きな置物を活動を通して、光、色、形や大きさ、バランスなど造形的な特徴を理解していること。	
			技能	材料の扱い方を工夫して丈夫でイメージに近い形や色を張子でつくっている。	
			発想・構想	春江を見守る守り神がいたら、どんな姿をしているか想像して守り神を思いつき、どのように作品を完成させるか考えている。	
			鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	
12月	糸のこやじろべえ（木工）	4	知識	糸鋸で板材を切る活動を通して、形の良さやバランス、色の組み合わせ、重なりなど造形特徴を理解している。	
			技能	①電動糸鋸の刃をセットすることができ、ある程度イメージに沿った形に切ることができる。 ②ポンドや絵具の使い方を工夫して、イメージに合ったキーホルダーをつくることできる。	
			発想・構想	好きなキャラクターや生き物など表したいものを見つけ、貼り方色の塗り方をどのようにするか考えている。	
			鑑賞	友達の作品を鑑賞し良いところや作者の工夫に気づき、見方や感じ方をひろげること。	
12月	コロコロコロガラート（ビー玉造形遊び）	3	知識	木工作品をつくる活動を通して、形や色、バランス、丈夫さ、材質感など造形的な特徴を理解している。	
			技能	①切断：のこぎりや電動糸鋸を適切に扱い、自分の計画に合わせて板を工夫して切ろうとしている。②組み立て：部品加工、やすりがけ、ポンドでの接着を適切な行い、思いに合わせて工夫して丈夫に組み立てている。③絵の具を適切に扱い、思いに合わせて工夫して色を塗っている。	
			発想・構想	整理して片付けたいものの収納方法を考えること基につくりたい文具入れを思いつき、つくるかか考えている。	
			鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	
1月 2月 3月	ビー玉ボードゲーム（木工）	10	知識	木材で立体作品をつくる活動を通して、形や色、バランスや奥行きなど造形的な特徴を理解している。	
			技能	①電動糸鋸を適切に扱い、板の形を工夫して切っている。 ②ポンドややすり、アルミ線を適切に扱い、工夫してやじろべえをつくっている。 ③水彩絵の具を適切に扱い、自分の思いに合わせて表し方を工夫して表している。	
			発想・構想	切った木を組み合わせた、バランスのとりの方を試したりしながら表したいやじろべえを思いついている。	
			鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	
主体性	糸のこで板を切ることや、バランスをとったり、色を塗ったりして遊べるおもちゃづくりに自ら進んで取り組もうとしている。				

合計 50